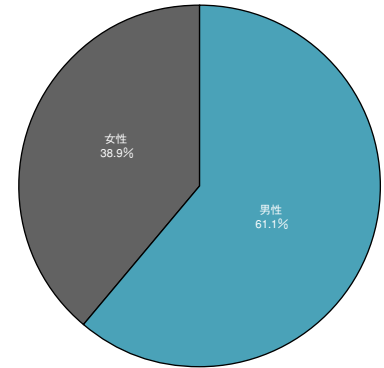


ビジネス利用のニーズは高いが
通信料金の低下など課題が山積

2-3 モバイルインターネットの調査概要

調査対象	自宅からインターネットを行っている16歳以上の男女個人
対象地域	全国
調査手法	インタラクティブウェブ調査
サンプリング	GMO（グローバルメディアオンライン）グループ、インプレスグループの保有するメールメディア登録者（約700万人）から無作為抽出、メール配信によるアンケートサイトへの誘導。インプレスウェブサイト、AMI（アクセスメディアインターナショナル）ウェブサイトにてアンケートを公募、アンケートサイトへの誘導、その他
最終有効回答数	5,547サンプル
調査期間	2003年4月24日～5月9日（ただし、メディアにより時期は異なる）

回答者のプロフィール 性別 N=5,547



©Access Media/impress,2003

【2003年のポイント】
ノートPCやPDAでの
モバイルの目的は
主にビジネス利用

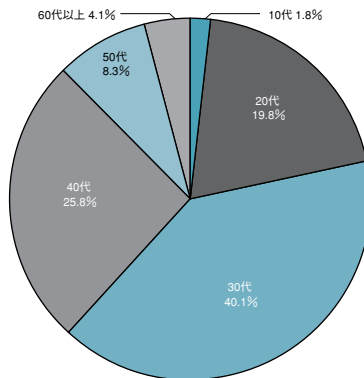
■全体動向

まず、非インターネット利用者を含む5,633サンプルに対し、自宅以外の外出先で携帯情報機器を利用しているかどうか、その場合、インターネットを利用するかどうかをきいたところ、約8割が外出先での携帯情報機器利用（=モバイル利用）をしないと回答している。モバイル利用している約2割の内訳は15.4%がモバイルインターネット利用者で5.1%がモバイル利用はするが、その際インターネットは利用しない人ということである。

モバイルインターネット利用者の利用機器は「A4ファイルサイズのノートブックパソコン」（47.1%）が最も多く、「B5ファイルサイズのモバイルノートブックパソコン」（33.4%）がこれに続いている。これらも「携帯電話接続」（28.1%）するのが最もポピュラーな接続方法である。

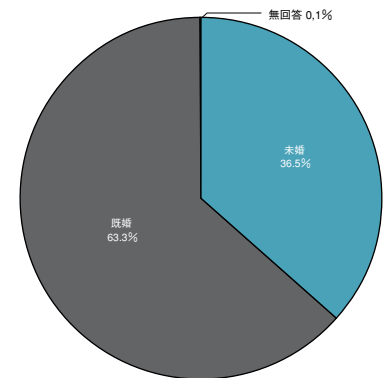
モバイルインターネットの利用場所は過半数が「ホテル・旅館などの宿泊先」であるが、「商用の外出先（工事・建設現場、クライアント先を含む）」、「駅構内・空港内、公園などの公共の場

回答者のプロフィール 年代 N=5,547



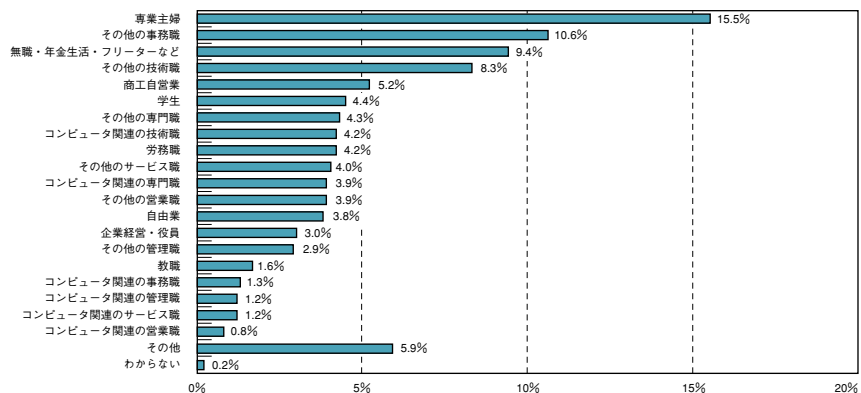
©Access Media/impress,2003

回答者のプロフィール 未婚 N=5,547



©Access Media/impress,2003

回答者のプロフィール 回答者の職種 N=5,547



©Access Media/impress,2003

回答者の職種構成は昨年同様、ここ数年の女性や高齢層増加の影響で「主婦」や「無職・年金生活・フリーター」の比率がやや目立つようになっている。それ以外の職種は利用者の裾野の広がりを受けて、分散化傾向である。

ビジネス利用のニーズは高いが 通信料金の低下など課題が山積

所、公共施設」と続いていることから、主に出張や仕事の利用がモバイルインターネット利用の主流であるといえる。

利用者の回線品質・スピードに関する満足度は低く、「満足」はわずか3.9%に過ぎない。

また、通信料金に関する満足度、カスタマーサポートに関する満足度も「満足」、「やや満足」を合わせてそれぞれ14.1%、13.0%と低いことから、モバイルインターネットの通信環境については改善の余地が大いにあるといわざるをえない。

利用者が1か月に支払っているモバイルインターネットのための通信料金は各金額レンジに分散しており、それぞれ使い方が一定でないことがうかがえる。

モバイルインターネットについては、特に商用のニーズがあるにもかかわらず、利用環境はかなり改善の余地を残している。しかし、その改善によってさらにモバイルインターネット利用者が増加する可能性も高い。

【2003年のポイント】 アクセスポイントは増加予定 高速化と低料金が 普及の鍵になる

■公衆無線LANアクセスポイント

モバイルインターネット利用者のうち公衆無線LANアクセスポイントの利用率は11.6%である。

利用頻度は分散しているが、「月に1回以下」が全体の約4割を占めるのに対し、1日1回以上のヘビーユーザーも18.8%見られる。

利用したことのある公衆無線LANアクセスポイントの場所は「ファーストフード・コーヒーショップなどの飲食店」(54.5%)を筆頭に、「駅構内・空

港内、公園などの公共の場所、公共施設」(45.5%)、「ホテル・旅館などの宿泊施設」(27.7%)と続く。

また、公衆無線LANアクセスポイントを利用するために加入しているサービスのトップは「Yahoo! BBモバイル」(33.7%)である。

利用者の満足度を回線品質・スピード、料金、カスタマーサポートについできているが、回線品質・スピードについては、まあ満足していると見てよいが、料金については満足と不満が拮抗している。また、カスタマーサポートについて「どちらともいえない」が6割以上を占め、カスタマーサポートの利用経験が少ないためか評価の対象となっていない。

急速にサービスポイントが増加しているとはいえ現在、「公衆無線LANアクセスポイントが少なく、利用場所に困る」(59.4%)点が利用上の最大の問題点として挙げられている。また、料金の高さ、業者の選択に困る点もこれからの課題である。利用上の問題の中にはハードウェアの問題として、電力を消費しすぎることや利用するためのハードウェアの価格が高すぎることも含まれている。

モバイルインターネット利用者でありながら、公衆無線LANアクセスポイントの非利用者である人に今後の利用意向を聞いたところ、「外出先でどこからでも利用したい」(58.9%)、「家庭内でホームネットワークとして利用したい」(32.5%)、「勤務先、学校で利用したい」(19.9%)など、モバイルのみならず、自宅や勤務先など幅広く利用意向があることがわかる。

公衆無線LANアクセスポイントに限らず、モバイルインターネット利用については、この1年で利用可能な場所が急速に増加するとともに、高速化、

料金の低価格化が進み、普及加速の可能性が見えてきている。しかしながら、幅広い利用者のニーズに応えるまでにはいたっていないのが現状であり、乗り越えるべきハードルも非常に多い。

(矢野さよみアクセスメディアインターナショナル株式会社)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp